

ドライフォグ加湿器

アキミスト

AKIMist“E”

03C,03B

取扱説明書

も く じ

● はじめに	P. 1
● まずは納入品のご確認を	P. 2
● 必ずお守りください	P. 3
● 構造と各部の名称	P. 5
● ご使用いただく前に	P. 7
● ご使用方法	P. 9
● 上手な使い方	P.12
● お手入れのしかた	P.13
● 周辺機器選定の目安	P.25
● 周辺機器	P.27
● 便利で簡単な取付けキット	P.29
● 「故障かな」と思ったら	P.31
● 保守と点検	P.33
● 仕様	P.34

① はじめに

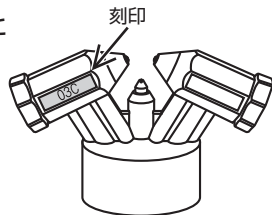
このたびは、弊社のドライフォグ加湿器「**AKIMist^{アキミスト}“E”**」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになった後は、「**AKIMist“E”**」の近くに大切に保管してください。

万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたときは、本書をお役立てください。

「**AKIMist“E”**」に搭載のAKIJetノズルには「**03C**」と「**03B**」の2種類がありノズル本体に刻印しています。ノズル種類により、使用可能圧力が変わりますのでご注意ください。



② まずは納入品のご確認を

★下記物品がそろっていることをご確認ください。

【AKIMist“E”本体】



タイプにより付属品が異なります。

- ・ AE-1…ノズル1個
- ・ AE-2…ノズル2個
- ・ AE-3…ノズル3個
- ・ AE-4…ノズル4個

ノズルおよび各供給部には保護キャップがついています(ご使用時には外してください)。

取付キットをセットで購入時は、エアーカプラ(プラグ)も組み付けられています。

【液カプラ(ソケット)】



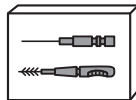
取付けキット購入時はキット側に組み付けられています。

【閉止キャップ】



ノズル数を減らせるように0～3個同封されてます。

【専用掃除キット】



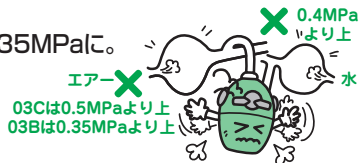
専用掃除キットをご注文の場合はAKIJet03Cノズルは品番 #226647、AKIJet03Bノズルは品番 #212837にてご依頼ください。

③ 必ずお守りください(安全上のご注意)



エアーの圧力は03Cは0.2～0.5MPa、03Bは0.3～0.35MPaに。
水の圧力は0.05～0.4MPaに。

良質な霧を得るために上記のエアー圧力に、
エアー用減圧弁で設定してください。
0.4MPa以上の水圧がかかると水漏れします。水用減圧弁で設定してください。



メンテナンスをするときはエアー、水を止めてから。

エアーの圧力がかかっている間は危険ですから絶対分解しないでください。
通水時に分解すると水漏れします。絶対に分解しないでください。



次の環境ではご使用できません。

環境温度が60℃以上。
直射日光または雨が当たる場所。



洗うときは・・・

ラッカー・シンナー・みがき粉は本体が傷みます。
中性洗剤で洗浄してください。





閉止キャップを外して噴霧しないでください。

エア圧力が上昇せず、正常に噴霧しません。
閉止キャップは必ずロックしてください。



ノズルを2個以上装着しているとき、どれかノズル1個が目詰まりを起こすと全て噴霧しなくなります。

P15～P19 を参照し掃除してください。



必要以外の分解はしないでください。

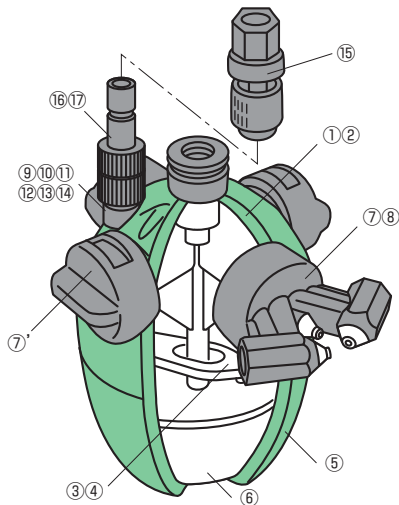
メンテナンス以外の分解をしますと元に戻らなくなります。



ノズル保護キャップは施工完了まで外さないでください。

取付け作業中のノズルチップを保護します。

4 構造と各部の名称



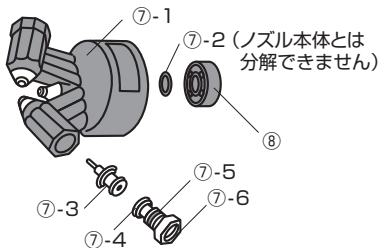
注) ノズル4個付きの場合、閉止キャップは装着されていません。

取付キットをセットで購入時は、カブラー接続できるように液・エア共にカブラ(プラグ)が組み付いています。部品⑮はキットに付属されます。

No.	名 称	材 質	部品コード
①	上部本体	PP,S303	#208638
②	カバー	PP	
③	レバー	PP	
④	スプリングピン	S304	
⑤	下部本体	PP	#205890
⑥	フロート	PP	#205888
⑦	AKIJet03Cノズル AKIJet03Bノズル	次ページ	#226214 #211507
⑦'	閉止キャップ	PPS	#208662
⑧	ゴムパッキン	FKM	#243353
⑨	止水ピン	S303	#208642
⑩	ポベット	NBR	
⑪	液ニッブル	S303	#214724
⑫	O-リング	NBR	#211782
⑬	ストレーナーホルダー	S303	#269608
⑭	ストレーナースクリーン	S316	#17973
⑮	液カブラ(ソケット)	POM,S304,NBR	#15778
⑯	液カブラ(プラグ)	S303	#216627
⑰	O-リング	NBR	

弊社では「ステンレス鋼」を「S」と略しています。〔例〕S303→ステンレス鋼303

ノズル部(⑦詳細)

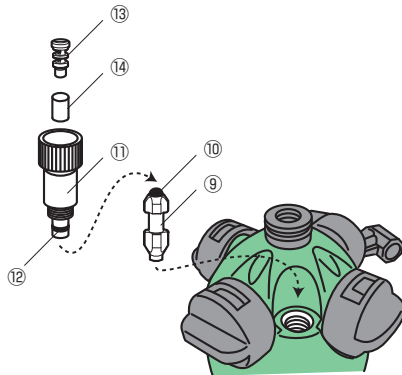


No.	名 称	材 質	部品コード
⑦-1	ノズル本体	PPS,OPF-W [※] ,S303	03C... #226215
⑦-2	エアーストレーナ	S304,S316	03B... #211508
⑦-3	ノズルチップ	OPF-W [※]	03C... #246596
⑦-4	パッキン	FKM	03B... #246600
⑦-5	O-リング	FKM	
⑦-6	プラグ	PPS	
⑧	ゴムパッキン	FKM	#243353

※OPF-Wは有限会社大阪樹脂販売の登録商標です。

⑦-3～⑦-6は、10コ1セットで納品されます。

ニップル・止水弁・ストレーナー部(⑨～⑭詳細)

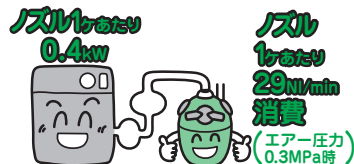


5 ご使用いただく前に

①コンプレッサー容量は十分に！

コンプレッサー容量が不足していると加湿に適したドライフォグを発生しません。

床や機械を濡らさないためにも、コンプレッサーの選定には余裕をもってください。



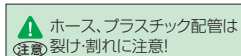
②AKIMist“E”への配管はステンレス！

サビの出る配管は絶対に避けてください。
ノズルが目詰まりします。



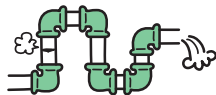
③クリーンなエアと水を使用！

供給するエアと水はできるだけ不純物を
含まないものをご使用ください。



④ エアー配管は適正に！

細すぎる配管や、曲がりくねった配管では圧力が落ちてしまいます。
圧力が落ちすぎるとドライフォグが発生できません。



⑤ 配管の取付け前には必ずフラッシングを！

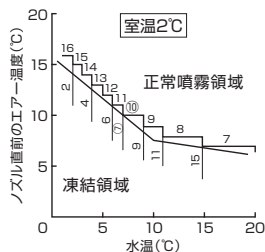
配管施工後すぐにAKIMist“E”を取り付けると施工時のゴミにより
ノズルが目詰まりします。十分にフラッシングしてください。
エアー配管もいったん水を通すときれいになります。



⑥ 寒冷地では凍結対策を！

寒冷地ではノズルの“断熱膨張”現象により
ノズルが凍結することがあります。
室温が2℃以上であれば右図の条件以上に
保つ必要があります。

ーグラフの見方ー
室温が2℃で水温が7℃であれば
エアーの温度を10℃以上に
すれば凍結しません。

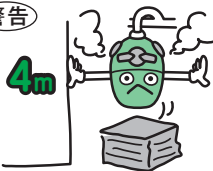


6 ご使用方法

①取り付ける前に

⚠ レイアウトに注意

警告



ノズル前方4メートルに壁や柱がないこと。

AKIMist“E”の真下には物を置かない。



水漏れします。
水平に。

⚠ プラスチック製品です。無理な力をかけると割れることがあります。

警告



必ずエア側で
固定してください。



無理にねじると
破損します。

②エアーの取付け(エアカプラーにまず組み付けてください。)



警告

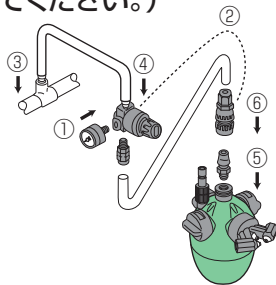
エアーは加湿器本体の中心の1/4ネジの方です。

エアーと水の接続を間違えるとノズルから水が飛び出します。よくご確認ください。

①→②→③→④→⑤→⑥の順に組み付けてください。

取付けキットに説明書を添付しています。

減圧弁は流れの向きがあります。間違えないようにご注意ください。



③水の取付け



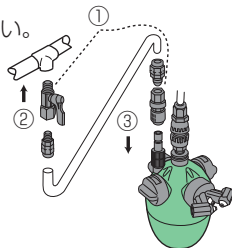
警告

水の接続は加湿器本体中心横の1/8ネジの方です。

本体に付属しているカプラーの方へ接続してください。

①→②→③の順に組み付けてください。

取付けキットに説明書を添付しています。



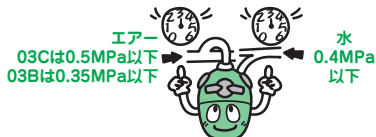
注1) 取付けキットは別売です。

2) 上記は組付けが必要なキットの場合です。

3) 各供給部には保護キャップが付いています。ご使用時には取り外してお使いください。

④使用中には・・・

エア圧力は03Cは0.2～0.5MPa、
03Bは0.3～0.35MPaに、
水の圧力は0.05～0.4MPaで
ご使用ください。



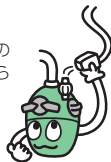
水道水は夜間水圧が上がります。
水圧が0.4MPaを超えると
止水せず、水漏れします。
必ず減圧弁をつけてください。

メンテナンスなどで取り外すときは…

安全のため、必ず
エアと水を止めて
ください。



まず水側の
カブラを外す。



次にエア側の
カブラを外す。



再度取り付けるときは、エアと水が止まっていることを確認してからエア、水の順に取り付けてください。

⑤保管は・・・

長期間噴霧を止める場合は、必ず中の水を抜き、
ノズルを掃除してからホコリのない乾いた所に保管してください。



7 上手な使い方

★機器の点検は定期的に！

コンプレッサー、水処理機器等、それぞれの取扱説明書に従ってメンテナンスを！



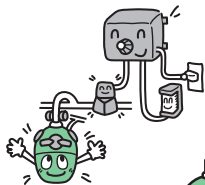
★噴霧の ON-OFF は速やかに…

電磁弁をAKIMist“E”の近くに設置するとON-OFFが速やかに作動します。



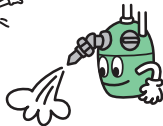
★湿度を自動でコントロールする！

湿度制御装置を使用いただくと、希望の湿度にピッタリ保てて、効果抜群！



★狙った場所を加湿します！

噴霧方向を変更できるAE-UTアダプター(別売)を取り付けると、水平方向と垂直方向に任意に噴霧方向を変えることができます。取付け・取外しもワンタッチです。



⑧ お手入れのしかた



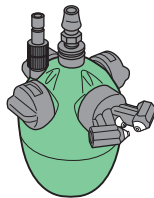
警告

安全のために、必ずエアーと水を止めてから
手入れを行ってください。

★高い所での作業は危険です。
安全な所で手入れしてください。



★お手入れに必要なもの



AKIMist“E”



マイナスドライバー



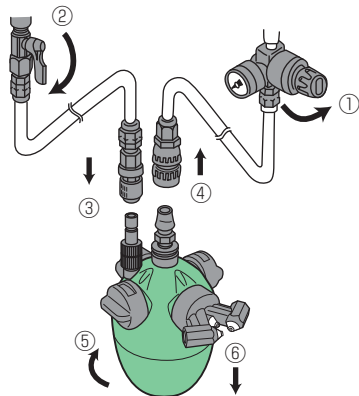
柔らかい布



中性洗剤

①上部本体と下部本体の取外し

- ① 減圧弁を閉じエアーを止める。
- ② バルブを閉じ水を止める。
- ③ 水側のカプラ(ソケット)を押し込んで接続を外す。
- ④ エアー側のカプラ(ソケット)を引いて接続を外す。
- ⑤ 下部本体を左へひねる。
- ⑥ 下へ引く。

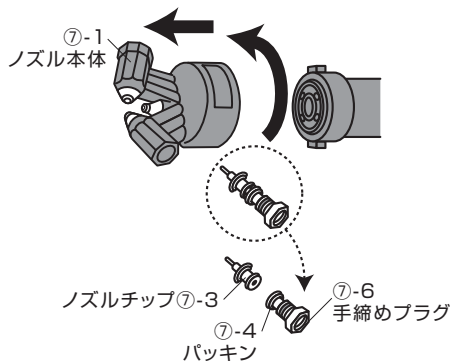


エアーと水のカプラは種類が異なります。詳しくは取付けキットの取扱説明書をご覧ください。

下部本体には水がたまっていますのでご注意ください。

＜取付け＞ 取外しと逆の手順で行ってください。

②AKIJetノズルのお手入れ(専用掃除キットを使用してください。)



①ノズル本体⑦-1を反時計回りにひねり、引き抜きます。

②手でプラグ⑦-6を反時計回りに回して外してください。
ノズルチップも同時に引き抜けます。

③ノズルチップ⑦-3とプラグ⑦-6を手で分解します。

<注意>

- 1) 小さい部品です、紛失しないようにご注意ください。
- 2) ノズルチップは樹脂製のため、取扱いには充分ご注意ください(特に先端部はぶつけないでください)。
- 3) パッキン⑦-4と手締めプラグ⑦-6は分離しないでください。再組付けできません。

ノズルチップや手締めプラグに不具合や変形がある場合、お手入れを行っても性能が戻らない場合は、部品を新品に交換してください。
p6 の部品コード表をご参照ください。

お手入れ方法を
動画でご確認
いただけます。



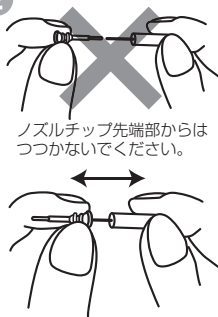
1



中性洗剤を含ませた布で
ノズルチップ先端部をぬ
ぐいます。

樹脂製です。強い力を加えると
変形し、性能が変わります（特に
先端部はご注意ください）。

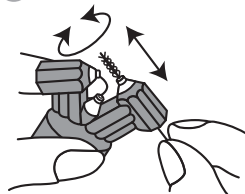
2



ノズルチップ先端部からは
つかないでください。

液孔にピンを入れ、異物を
取り除きます。
そのあとノズルチップを
エアースローします。

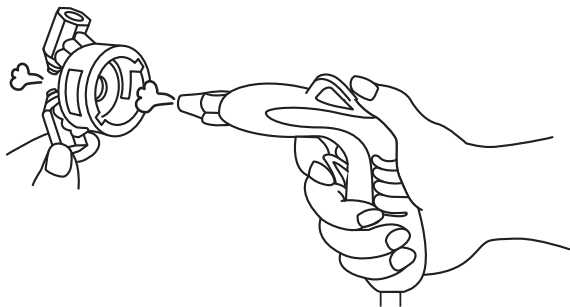
3



ブラシを図のように挿入し、
回転とピストン運動させな
がら異物を取り除き、最後
にエアースローします。

異物が取れにくい場合は中性洗剤を
ブラシに含ませて行ってください。

4



中心孔およびノズルチップ挿入部へエアブローします。

＜組付け方＞

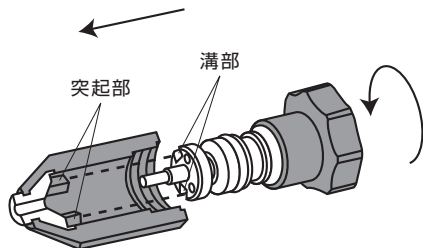
ノズルチップ⑦-3とプラグ⑦-6を組み付け、ノズル本体⑦-1と一緒にねじ込みます。

O3Cノズルについては、ノズルチップ⑦-3の2ヶ所の溝部とノズル本体内部の2カ所の突起部を合わせて組み付けてください。

位置が合わないときは、無理に押し込まず繰り返し作業を行ってください。

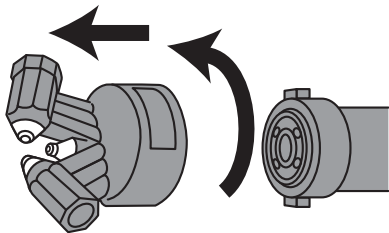
＜注意＞

- 1) ノズルチップは樹脂製で細いので、ぶつけないようご注意ください。
- 2) 途中、引っかかりや固さを感じた際は無理にねじ込まず、繰り返し作業を行うか、掃除をし直してください。
- 3) ノズルチップ先端がつぶれた場合は使用しないでください。
粗い霧が出たり水滴落下の原因となります。



(O3Bノズルには溝部、突起部はありません。)

③エアーストレナーのお手入れ



- ① ノズルを反時計回りにひねり、引きながらアダプターをはずしてください。
- ② ノズル本体裏のストレーナーを掃除します。
やわらかい布等できれいに拭き取ってください。

注) エアーストレナーは分解できません。

<ノズルの組付け>

ノズル本体の凹部と、アダプターの凸部を合わせてから押し込み、時計回りにひねってください。

④各部品の耐用年数について

商品名		交換までの使用期間	
ノズル部パッキン	⑦-4	#208659	約2年
ノズル部O-リング	⑦-5		
プラグ	⑦-6		
本体ゴムパッキン	⑧	#243353	約5年

注1)交換までの使用期間は使用状況により異なります。

2)上記期間を目安とし、早めに交換ください。

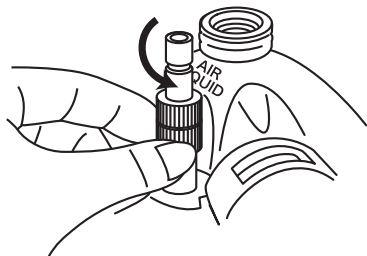
3)上記⑦-4、⑦-5、⑦-6は一体となります。

「#208659」は3部品セットの番号です。

⑤ 水用ストレーナーのお手入れ

AKIMist“E”には液ニップルに水用ストレーナーがついています。

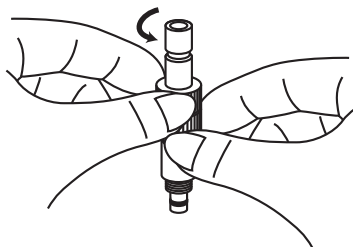
① 液ニップルを外す。



加湿器本体をしっかり持ち液ニップルを反時計回りに回します。

液カプラはつけたままです。

② 液カプラを外す。



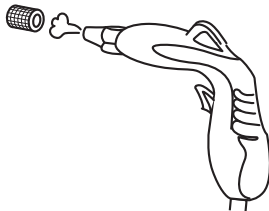
③ ストレーナーを外す。



マイナスドライバーを使用し液ニップル内の
ストレーナーを外します。

汚れはスクリーンの外側に付着しています。
紛失しないようにご注意ください。

④ ストレーナースクリーンを掃除する。



エアブローまたは水洗いでスクリーンを
掃除します。

⑥液ニップルと止水弁(止水ピン+ポペット)のお手入れ

液ニップルを外すと上部本体の中に止水弁が入っています。

①液ニップルの掃除

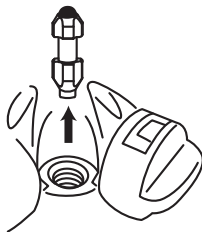


液ニップルのネジ側にゴミがある場合は
エアブローや爪楊枝等で取り除いてください。



先端部（止水弁接触部）はやわらかい布で拭いた
あと、エアブローをしてください。

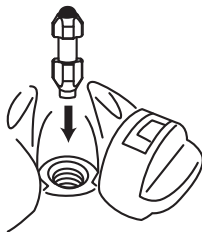
②止水弁の掃除



本体から止水弁を抜き取り、水洗いまたは
やわらかい布で拭いたあと、エアブローして
ください。

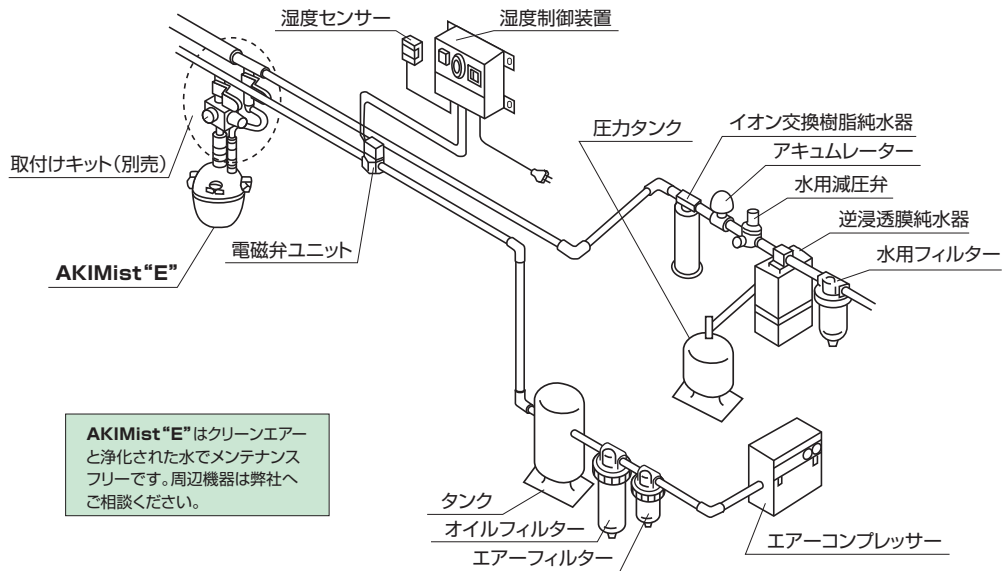
⑦水用ストレーナーと止水部の組付け

上部本体に止水弁を入れ、P21・P22 の③→②→①の手順で組み付けます。



止水弁の向きにご注意ください。

⑨ 周辺機器選定の目安



AKIMist "E"はクリーンエアーと浄化された水でメンテナンスフリーです。周辺機器は弊社へご相談ください。

☆AKIMist“E”の 取付けが楽になります。	AKIMist “E” 取付けキット （別売） 取付け用キットは プレートナシキット、吊り下げキット、 壁取付キットの3種類あり、 それぞれ形状が異なります。	取付けが断然有利になります （P29、P30を参照ください）。
☆AKIMist“E”の 運転に必ず必要です。	・エアーコンプレッサー ・エアーフィルター（ろ過度0.3μm） ・オイルフィルター（ろ過度0.3μm） ・タンク ・水用ストレーナー（150メッシュ） ・水用フィルター（ろ過度5μm） ・水用減圧弁	エアーを供給します。 エアーに含まれる水・ダストを除去します。 エアーに含まれるオイル・水・ダストを除去します。 エアーの安定供給を行います。 水中の大きなゴミを除去します。 水をろ過します。 水を適正な圧力に調整します。
☆メンテナンスが楽に なります。	・逆浸透膜純水器	ノズルの目詰まりの原因となる水中の硬度分、シリカを取り除きます。
☆さらに清浄な水が できます。	・イオン交換樹脂純水器	クリーンルームでのご使用など水の純度をさらに上げる時に使用します。
☆寒冷地及び冬季の安心 のために。	・エアーヒーター	配管やノズルが凍結するのを防ぎ、冬季も安心です。
☆簡単に湿度の自動制御 ができます。	・湿度制御装置 ・電磁弁	ご希望の湿度にピッタリ保ちます。

10 周辺機器

逆浸透膜純水器



逆浸透膜タイプの純水器で水中の不純物を取り除きます。

イオン交換樹脂純水器



見やすい水質計、警報接点付きです。
シンプルで使いやすい構造です。

水用フィルター



5 μ m以上の不純物を取り除きます。
接続管径に応じて各機種があります。

湿度制御装置

日夜を問わず、常に一定の希望湿度に保ちたい場合に使用します。

コンパクトデジタルタイプ(RHC-C11)



現在の湿度と設定湿度をデジタル表示。
小型コンパクトで設置場所を選びません。
(測定精度 $\pm 3\%$)
湿度センサー1個付きです。

(電磁弁)



噴霧の自動制御を行うとき、エアーや液の流れを断続します。

(湿度センサー)



湿度を感知し、制御器へ信号を送ります。

エアーコンプレッサー



AKIMist“E”に必要なクリーンなエアーを供給します。

AKIMist“E”の台数に応じて各機種があります。

エアーフィルター



圧搾空気中の水滴やダストを効果的に除去しエアーの清浄化をはかります。

マイクロファイバーにより圧搾空気中の $0.3\mu\text{m}$ 以上の油分・ダスト・水分を取り除きます。

接続管径に応じて各機種があります。

オイルフィルター



マイクロファイバーにより圧搾空気中の $0.3\mu\text{m}$ 以上の油分・ダスト・水分を取り除きます。圧力降下が 0.1MPa に達したら、または2年経過したら新しいエレメントと交換します。

接続管径に応じて各機種があります。

タンク



エアーを蓄え、エアーコンプレッサーの負担を軽減します。

水用減圧弁



液の供給圧力を精細にコントロールします。設定圧力は 0.01MPa ～ 0.35MPa です。

水用ストレーナー

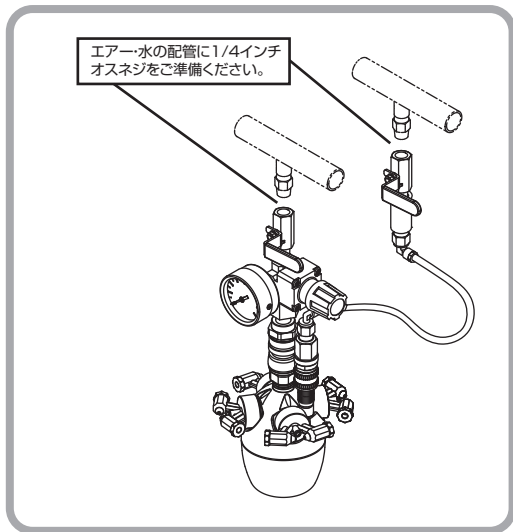


10メッシュで約 0.1mm の不純物を取り除きます。

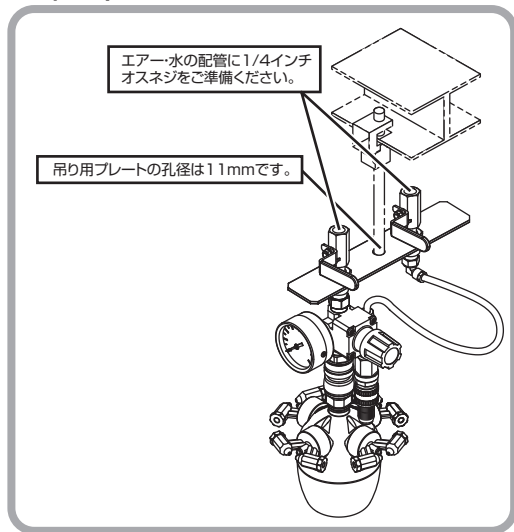
軟水器を使用される場合は、必ず上流に10～50メッシュのものをご使用ください。

11 便利で簡単な取付けキット

□プレートナシキット

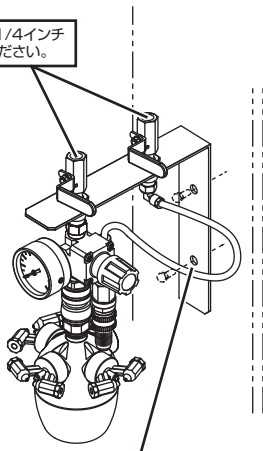


□吊り下げキット



□壁取付キット

エアー・水の配管に1/4インチ
オスネジをご準備ください。



固定用プレートの孔径は9mmです。

12 「故障かな」と思ったら

ご使用中に異常が生じたら直ちにエアーおよび水を止めて、次の項目をお調べください。

こんな時は	ここをお調べください	なおしかた
1. 噴霧しない。 あるいは すぐに噴霧 しなくなる。	①エアーの圧力は正しいですか？	03Cは0.2~0.5MPaに、03Bは0.3~0.35MPaに合わせる。
	②閉止キャップが外れている。	閉止キャップをロックする。
	③減圧弁の向きは合っていますか？	流れの方向の指示に合わせる。
	④電磁弁の向きは合っていますか？	流れの方向の指示に合わせる。
	⑤電磁弁は作動していますか？	電磁弁を確認する。
	⑥ストレーナーは詰まっていますか？	ストレーナーを掃除する。
2. 間欠噴霧 する。	⑦ノズル内部のパッキングは正しく付いていますか？	P.6およびP.20の⑦-4、⑦-5、⑦-6のセット(#208659)を取り替える。
	⑧ノズル噴口にゴミが付いていませんか？	ノズルを掃除する。
	⑨ノズルとアダプターの間にあるゴムパッキンは正しく付いていますか？	正しく付け直す。もしくは取り替える。
	⑩凍結していませんか？	エアー昇温機器を設置する。
3. ノズル噴口 よりぼた落 ちする。	①ノズルの噴口にゴミが付いていませんか？	ノズル噴口を掃除する。
	②水圧は0.4MPa以下ですか？	0.4MPa以下にする。
	③ノズルチップが変形していませんか？	ノズルチップを交換する。
	④電磁弁をAKIMist“E”の近くに設置していますか？	電磁弁をAKIMist“E”の近くに設置 または、エアーリリーフ用の回路を設ける。

こんな時は	ここをお調べください	なおしかた
4.霧が粗い。	①エアーと水の接続は正しいですか？	それぞれ正しい方に接続する。
	②閉止キャップが外れている。	閉止キャップをロックする。
	③配管が細く、曲がりが多いですか？	太い配管に替える。曲がりを少なくする。
	④エアーの圧力は適切ですか？	03Cは0.2～0.5MPaに、03Bは0.3～0.35MPaに合わせる。
	⑤エアーフィルターは汚れていませんか？	エアーフィルターを掃除する。 もしくは取り替える。
	⑥ノズルのエアーストレーナーは汚れていませんか？	エアーストレーナーを掃除する。
	⑦電磁弁は汚れていませんか？	電磁弁を掃除する。もしくは取り替える。
	⑧ノズルチップが変形していませんか？	ノズルチップを交換する。
5.停止時に粗い霧が出る。	①電磁弁を AKIMist“E” の近くに設置していますか？	電磁弁を AKIMist“E” の近くに設置 または、エアーリリーフ用の回路を設ける。
6.本体より水漏れする。	①水圧は0.4MPa以下ですか？	0.4MPa以下にする。
	②止水弁は正しく付いていますか？	正しく付け直す。もしくは取り替える。
	③液ニップルがゆるんでいませんか？	きっちり締める。
	④ノズル内部にOリングは正しく付いていますか？	正しく付け直す。もしくは取り替える。

上記項目をお調べいただいても正常な噴霧が得られない場合は、最寄りの弊社営業所へご相談ください。

13 保守と点検

それぞれの取扱説明書に従ってメンテナンスを行ってください。

区 分	項 目	内 容
日常点検	①圧力計の指示目盛りのチェック	噴霧した状態でコンプレッサーエアーの圧力がセット値03Cは0.2~0.5MPaに、03Bは0.3~0.35MPaであることを確認する。
	②エアーフィルター内のドレンの量を観察	エアーコンプレッサーの設置場所によってドレンのたまる量は異なる。最初のうちは注意して観察し、ドレンを抜く日の間隔を決める。
	③電磁弁の作動を確認 (ドライ Fog コンローラーを設置した場合)	電磁弁のON/OFFが正常に作動することを確認する(このとき湿度制御装置作動も同時にチェックすることが好ましい)。
定期点検	①エアー&オイルフィルターのエレメント洗浄	1ヶ月に1回、中性洗剤で洗う。
	②水用ストレーナーのエレメント洗浄	1ヶ月に1回、水洗後エアーブローする。
シーズンオフ	①配管内の水とエアーを抜く。	シーズンオフに入るときは必ず行う。
	②エアーフィルター&水用ストレーナーのエレメント洗浄	シーズンオフに入るときに洗浄。 シーズン前に汚れサビをチェックする。
	③配管内のエアーブロー	シーズンオフに入るとき、およびシーズンが始まるときに行っておく。

★部品交換

区 分	交換までの使用期間
エアーフィルター&オイルフィルターのエレメント	2年
水用ストレーナーのエレメント	4年
減圧弁のダイヤフラム	2年
電磁弁のプランジャー	5年

14 仕様

形式		AE-1		AE-2		AE-3		AE-4	
		(03C)	(03B)	(03C)	(03B)	(03C)	(03B)	(03C)	(03B)
ノズル数※		1		2		3		4	
大きさ(幅×高さ)(mm)		109×110		125×110					
質量(g)	空水時	290		300		310		320	
	使用時	310		320		330		340	
噴霧量(ℓ/hr) (空気圧力0.3MPa)		2.4	3.3	4.8	6.6	7.2	9.9	9.6	13.2
空気消費量(Nℓ/min) (空気圧力0.3MPa)		29		58		87		116	
コンプレッサー容量(kW)		0.4		0.75		1.5			

AKIMist“E”はノズルを最大4個まで追加して取り付けることができます。

供給空気圧範囲

03C→0.2～0.5MPa
03B→0.3～0.35MPa

注1) 噴霧中の加湿器部での圧力です。粗い霧や噴霧不良の原因となりますので範囲以外でのご使用は避けてください。

2) 加湿器部での圧力です。漏れや噴霧不良の原因となりますので範囲以外でのご使用は避けてください。

3) 上記範囲に設定しても、運転や原水の状況によっては一時的に上記圧力範囲を超える場合がありますので0.1MPa程度での設定をお勧めいたします。

供給水圧範囲

0.05～0.4MPa



<https://www.dry-fog.com/jp/>

〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-15-15・第一協業ビル
TEL: 0120-997-084 FAX: 06-6538-4023 E-mail: mist@kirinoikeuchi.co.jp

各地の営業所情報はこちらをご参照ください。

<https://www.dry-fog.com/jp/corporate/location/>

この取扱説明書に記載されている特許とは、日本国内取得のものを示します。